

組織目標管理シート

年度	令和6年度				(参考) 関連する総合計画における政策指標		・市政情報の取得満足度 ・地域団体、民間事業者、学校などとの多様な主体との協働数		作成日	R6.4.1
組織名(部)	南区役所		組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課					評価日	R7.3.31
									○:達成 △:一部未達成 ×:未達成	
No.	組織目標		指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
	総合計画(実施計画)上の位置づけ		取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	地域防災活動の中心的人材の確保、育成を進め、持続的かつ質の高い地域防災体制の確立を目指します。		防災士資格新規取得者数	3人	6人	防災士育成助成(市単)	防災士資格取得に係る経費補助により、地域防災の担い手確保を支援します。	○	新潟市の助成制度を活用した5名と、その他1名が資格を取得。	引き続き、防災士確保の目標達成に向け資格取得を支援する。
			自主防災訓練実施率(対象23団体)	100%	100%	自主防災組織活動助成(市単)	防災訓練実施に係る経費補助により、地域が定期的かつ持続的な自主防災活動を実施できるよう支援します。		昨年に続き全23団体が訓練に取り組んだ。	補助金活用相談、訓練貸出品の提供等により、全団体の訓練実施をサポートする。
2	「南区と白根高校との連携・協力に関する協定」に基づき、相互の密接な連携と協力のもと、地域と協働しながら、「若い力」をまちづくりに生かし、「活力あふれるまちづくり」、「持続可能なまちづくり」につなげていきます。		行財3-2-③	情報共有・意見交換の会議や勉強会の開催回数	4回	7回	白根高校とのまちづくり連携事業	○	実施回数:7回 当初、中間、発表、後期の4回。他SNS検討会開催	引き続き、高校と地域連携する団体を支援する。
3	区内の生活交通を維持するとともに、利便性を高めます。			・区バス運行を支援する協賛広告数	現状値以上 (令和5年度45件)	現状値以上 (令和6年度42件)	区バス運行事業	×	42件 前期1枠申込 後期0枠	引き続き、既存広告掲載事業者の確保と新規事業者の開拓に努める。
4	区民や地域が区政に参画し、区役所と協働で地域課題を解決するために必要な情報を、区役所だよりや区のホームページなど既存の広報媒体を充実させるとともに、SNSも積極的に活用して旬な情報を積極的に発信し、共有します。			区公式エックスの投稿件数	区公式エックスの投稿件数300件	498件	・区公式エックスの投稿 ・区公式Instagramの投稿 ・区役所だよりの発行 ・区ホームページの運営 ・エフエム新津ラジオの出演 ・市政情報モニターの活用 ・区の動画チャンネルの活用	○	区公式エックスの投稿件数498件	フォロワーを増やすことも意識し、引き続き区民の関心ある情報や必要な情報を集めて投稿する。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市政情報の取得満足度 ・地域団体、民間事業者、学校などとの多様な主体との協働数	作成日	R6.4.1		
組織名(部)	南区役所	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課			評価日	R7.3.31		
						○:達成 △:一部未達成 ×:未達成			
No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	指標 R6目標	R6結果	主な取組(事業) 取組名称(事業名) 概要	評価	目標達成状況	今後の方針
5	国の重要文化財旧笹川家住宅や世界最大級の風の資料館であるしろね大風と歴史の館の魅力向上のため、魅力の創出に努めるとともに、情報を発信します。		地域や各団体などと連携した取り組みを実施	3箇所(旧笹川家住宅、曾我・平澤記念館、しろね大風と歴史の館)	3箇所	旧笹川家住宅、曾我・平澤記念館、しろね大風と歴史の館における各事業 地域内外に発信できる事業を行うことで、施設のさらなる魅力向上及び知名度向上の推進に取り組みます。	○	施設の主な事業と連携元 ○旧笹川家住宅:ホテル観賞会(味方ほたる愛好会)和のヒカリ(味方中学校)、 ○曾我・平澤記念館:ゆかりの講演会(ゆかりの講演会実行委員会) ○しろね大風と歴史の館開館30周年大風作成事業(ボランティア団体風トピア)、U25風絵展(風絵館)	今後も各施設において地域や各団体などと連携しながら事業を実施する。事業は地域内外に発信し、施設のさらなる魅力向上及び知名度向上の推進に取り組む。
6	コミュニティ協議会の運営や活動を支援し、コミュニティ活動の活性化を図ります。	行財3-2-②	コミュニティ協議会の運営支援団体数	12団体	12団体	コミュニティ協議会の運営支援 コミュニティ協議会による自主的・主体的な活動が円滑に進められるよう、運営体制の整備や財源の確保を図る取り組みを支援します。	○	全コミュニティ協議会(12団体)の運営を支援。	今後もコミュニティ協議会の運営や活動を支援し、協働してまちづくりに取り組む。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 1人1日当たりごみ総排出量 市政情報の取得満足度	作成日	R6.4.30
組織名(部)	南区	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	・年2回実施する窓口アンケートの平均点数 ・滞在時間のスムーズさに係る質問を除く全項目を対象とし、「悪い」「とても悪い」と評価された件数(件)	4.50 0	4.63 3	・窓口アンケートの実施 ・南区役所サービス憲章の推進 「笑顔できめ細かな声かけ」「公平で公正な対応」		△	「悪い」「とても悪い」の評価は、前期に1件庁内の案内表示が悪い、後期に2件書類の書き方など手続方法のわかりやすさに悪いとの評価をいただきました。 窓口アンケート結果(前期4.73、後期4.52)	手続きや申請書など来庁者に記載していただく様式の見直しを提案するほか補助説明資料の作成や記載時の丁寧な説明を心掛け、引き続き、南区役所サービス憲章を推進していきます。
2	循環型社会の実現に向け、3Rの取り組みを行い、区民の意識醸成を図ります。また、未来を担う子どもたち向けに環境教育を行い、関心や意識を育みます。	政策16-2-①	①段ボールコンポスト年間販売数(個)前年度以上 ②地域会合、地域の祭り、イベント等でのプロモーション回数(件)	93 5	86 7	・南区イベントでの啓発活動 ・段ボールコンポストの普及啓発 ・未来を担う子どもたちへの環境教育活動	・地域の会合やイベントに出向き、ゴミの減量化とその手段・方法についての啓発を行います。 ・段ボールコンポストを使った、誰でも身近で簡単にごみの減量化ができるSDGsの取り組みを浸透させていきます。	△	3月末時点の販売数86個。 前期プロモーション回数:住み郷総会(1)、クリーンにいがた研修会(3)、子ども食堂(1)、後期プロモーション回数:イオン白根店(1)、風フェスティバル(1)	引き続き、保育園等との連携イベント及び地域の会合やまつりで啓発活動を行い、区民からごみの減量化に取り組んでいただく。また、段ボールコンポスト購入者の満足度を高めるため、個人やグループに対して、対話などによる使用方法やアフターフォローを行っていきます。
3	課の取り組み内容を効果的な発信手段を用いて区民へわかりやすく伝えることで、その効果を高めていきます。	行財1-1-①	南区公式「X(エックス)」へ掲載する各活動報告記事の閲覧者数	全ポストの平均閲覧回数1,000回以上	18,400回	・各種啓発活動の紹介 ・未来を担う子どもたちへの環境教育活動の紹介		○	全9コンテンツ投稿 前期までの閲覧総数160,794 後期までの閲覧総数165,589	効果的に市民の関心を引くコンテンツの作成手法について、さらに研究を続けていきます。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・地域コミュニティ協議会における活動状況・人員体制・財政状況 などの自己目標達成度	作成日	R6.4.1
組織名(部)	南区役所	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課味方出張所			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標		指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民が利用しやすい窓口を目指し、市民満足度を向上させます。	行財1-1-①	窓口アンケート平均点(5点満点) 「悪い」「とても悪い」の評価件数(件)	4.50以上 0	4.58 0	・南区役所サービス憲章の推進 ・幅広い要求に対する窓口対応能力の向上	職員一人ひとりが南区役所サービス憲章(笑顔・迅速・丁寧なサービスの提供)を遵守し、市民満足度の向上に努めます。	○	7月と12月に実施した窓口アンケート(51件)の集計結果は、平均で4.58となり、目標を達成しました。また、「悪い」「とても悪い」の評価はありませんでした。	南区役所サービス憲章(笑顔・迅速・丁寧なサービスの提供)を遵守し、市民満足度の向上に努めます。
2	地域の活性化や賑わいのほか、様々な課題解決に向けた取り組みを住民とともに考え、基本となる地域組織の自立を支援します。	政策1-1-①	「味方地区ふるさと納涼まつり」実行委員会会議出席回数 「穀倉祭」実行委員会会議出席回数	3 3	3 3	・コミュニティ協議会の自立支援	夏と秋に実施する2つの地域イベントの実行委員会会議に出席し関わることで、地域が主体的に開催できる体制づくりにつなげます。	○	まつり開催に係る実行委員会について、すべてに(全6回)出席しました。様々な課題がある中、地域とともに考え実行し、賑わいを創出することができました。	様々なモノの値段が高騰する中、協賛金など運営資金の確保が難しくなっています。持続可能な運営となるよう、ともに考え地域組織の自立を支援します。
3	ごみの減量化を推進します。	政策16-2-①	新潟市地球温暖化対策実行計画(R1年度～6年度)で示す温室効果ガスを排出する燃やすゴミの量がH29年度実績を超えない	100%以下	43.1%	・味方出張所(所内ほか所属排出量含む)が排出する燃やすゴミの減量	市役所もCO2を多量に排出する大規模な事業所の一つとして、率先して燃やすゴミの減量に努めます。	○	出張所のほか4所属の排出量が含まれているため、これらの組織へも継続してゴミの分別と減量化を注意喚起したことから、目標を達成することができました。	ゴミ分別の徹底、事務のペーパーレス化を呼びかけ、資源化とデジタル化の両輪で、燃やすゴミの排出量抑制に努めていきます。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う割合 ・仕事に対する職員満足度 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R6.4.1
組織名(部)	南区	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課月潟出張所			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	窓口アンケートの平均点数 「悪い」「とても悪い」の評価件数	4. 50点以上(令和5年度: 4. 70点) 0件(令和5年度: 1件)	4. 64点 0件	窓口アンケートの実施(年2回)	全国統一窓口アンケートに準じて実施する。アンケート結果は所内で共有することで市民対応の質の向上に取り組みます。	○	1回目調査件数30件、結果は平均4. 61点で「悪い」「とても悪い」は0件。2回目の調査件数30件、結果は平均4. 68点で「悪い」「とても悪い」は0件。平均4. 64点であり目標を達成しました。	今後も庁内を点検し常に改善するよう努めます。
2	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決できる職員を育成します。	行財1-4-①	所内研修の開催回数	3回(令和5年度: 2回)	3回	所内全職員を対象とした研修会の開催	業務に関係するもののほか、職員の知識・能力向上にかかわるものであればジャンルを問わず開催します。	○	「不動産取得税と譲渡所得」「相続税と贈与税」「マイナンバーカードによる特例転入」の研修を行い目標を達成しました。	今後も研修を行い、職員のスキルアップに努めます。
3	新潟市無形民俗文化財である角兵衛獅子の魅力を発信し、担い手育成の支援などを通して、保存・継承を行います。	政策2-3-①	月潟まつり、角兵衛獅子に関するPR回数	3回(令和5年度: 5回)	5回	新聞等報道関係への掲載回数	月潟まつりや角兵衛獅子のPRを行い、月潟地区の魅力を発信するとともに担い手育成に取り組めます。	○	TeNY医療の広場(1回)、燕三条エフエム(1回)、新潟日報(1回)、南区公式エックス掲載(2回)と角兵衛獅子のPRを行い目標を達成しました。	角兵衛獅子の舞は月潟地区の伝統芸能であり、月潟まつりの時期に関わらずPRしていきます。

組織目標管理シート

年度	令和6年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・新潟市は子育てをしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命	作成日	R6.4.1
組織名(部)	南区役所	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課		評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
	取組指標		R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要				
1	子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保するため、既存施設を活用し、地域との連携を図りながら児童館等を運営していきます。	政策4-1-⑤	児童館の利用人数	前年度以上 (R5年度 106,551人) ＜内訳＞ 白根児童センター:49,827人 味方児童館:16,474人 白根北児童館:22,307人 白根南児童館:17,943人	R6利用者数 106,505人 ＜内訳＞ 白根児童センター:50,968人 味方児童館:13,586人 白根北児童館:23,452人 白根南児童館:18,499人	児童館の運営・支援	安心・安全な遊び場環境を作り、集团的、個別的な遊びの育成援助活動を実施します。	△	区内4つの児童館・児童センターにおいて、地域との連携事業や職員が地域に出向いて遊びを提供する「移動児童館」を実施することで、施設の魅力を発信し、利用促進を図りました。その結果、利用者数は、4館中3館で前年度以上となりましたが、1館で前年を下回ったため、4館合計では、46人減となりました。	引き続き、移動児童館等の取り組みを通して児童館の魅力を発信するとともに、関係施設との連携を促しながら、子どもたちの居場所の充実を図ります。
2	障がい福祉に関する支援体制充実を図るため、研修会を通じて関係する専門機関の連携を深めます。		関係機関の連携推進	推進	推進を図ることができた。	関係機関合同研修会の開催	早期に適切な支援につなげられるよう、関係機関を対象とした講義や参加者による意見交換などを実施し、連携を推進します。	○	6月27日に保育園や学校、放課後児童クラブ、福祉事業所など65名の参加により、関係機関合同研修会を開催しました。講義とグループワークを行い、開催後の参加者アンケートでは、今後の連携に役立つとする回答が9割を超えました。	関係機関合同研修会については、より連携推進につながるものとなるよう、南区障がい者地域自立支援協議会において研修内容を協議します。
3	子どもから高齢者まですべての区民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう支援し、健康寿命の延伸を図ります。		ミニドック型集団健診(未受診者健診)受診率	○受診勧奨による受診率前年度以上 (R5年度 3年連続特定健診未受診者数:3,047人 ミニドック受診者数:152人 受診率4.99%) ○電話勧奨による予約数が前年度以上 (R5 40人)	○3年連続特定健診未受診者数:2,802人 ミニドック型集団健診受診者数:112人 受診率4.00% ※枠が空いたために対象外にも案内し、16人受診 ○電話かけによる予約数56人	・ミニドック型集団健診(未受診者健診)の実施 ・保健師による特定健診の電話勧奨 ・保健指導の実施	特定健診とがん検診が同時に受診できるミニドック型集団健診を実施し、集団健診での受診をきっかけに継続した健診受診を促進します。また、対象者に合わせた保健指導を行い、健康意識の向上を図りながら、主体的な健康づくりへの取組みを支援します。	△	対象者2,802人のうち、延べ724世帯に電話による受診勧奨を実施し56人の受診予約があり目標達成しました(前年度比では40%の予約者増)。しかし、当初の郵送による受診案内が封書からはがきに変更したこともあり、自主的な予約者数が66人と前年度比53.2%減少したため合計予約者数が122人となり、キャンセルを除いた受診者数は112人で、受診率は目標に達しませんでした。	3年連続未受診者の割合が高い(37.6%)ことは健康寿命への悪影響が大きいと、対象者への受診勧奨は継続します。一方で、3年連続ではない未受診者もミニドックの予約対象に含め、定員枠の埋まり具合を見つつ、案内していきます。はがきの案内文の工夫や、架電の電話番号調べの簡略化など、より効率的・効果的な勧奨方法を検討し、受診率の向上を目指します。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・新潟市は子育てをしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命	作成日	R6.4.1			
組織名(部)	南区役所	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課			評価日	R7.3.31			
○:達成 △:一部未達成 ×:未達成										
4	高齢者が地域の中で生きがいをもちながら役割を果たせる環境づくりを進めるため、「地域の茶の間」をはじめとした住民主体で支え合う地域づくりの支援を行います。 自治会・町内会、地域コミュニティ協議会などの地域団体や、様々な分野で公益活動を展開するNPOなど各種市民団体と連携した取り組みを推進します。	政策7-1-① 行財3-2-②	・地域の茶の間の総設置件数 ・訪問型生活支援の活動団体の数	前年度以上 (R5年度 67件) (R5年度 5か所)	地域の茶の間の総設置件数: 71件 訪問型生活支援の活動団体の数: 5か所	・地域の茶の間の充実 ・身近な生活支援体制の構築	地域が主体となって進める助け合いや支え合いの活動に対して、支え合いのしくみづくり推進員を中心に、関係機関と連携しながら支援を進めていきます。	○	新飯田地区で、循環茶の間に開催していた茶の間が月1回の開催で定着。月潟地区では、西地域で循環茶の間をお試して2月に開催、今後も不定期で開催する予定です。 訪問型生活支援としては、味方地区で、買物同行・除雪支援を始めました。 また10月に「南区生活支援サービスサミット」を開催。既存の活動団体やその他地域が集まり、高齢者を支える仕組みを知り、情報交換を行いました。	支え合いのしくみづくり推進員(SC)を中心に既存団体へのサポート・フォローと不足している地域へのアプローチなど支援を継続します。さらに「南区生活支援サービスサミット」を開催し、住民同士の支援活動を推進します。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・一人当たり市民所得(市民経済計算による一人当たり市民所得) ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・観光入込み客数 ・農業産出額推計値	作成日	R6.4.1
組織名(部)	南区役所	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	商店街が商業機能に加え、世代を超えて人々が交流する機会を創出するなど、地域住民やコミュニティが求める多様なニーズに応え、持続・発展できるよう、地域の実情に合わせ支援します。	政策8-1-④	商店街が連携して取り組む事業数	4事業	4事業	・つながる商店街支援事業	商店街エリアの集客や消費促進、賑わい創出を図るための取組を支援し、複数の商店街等の連携を推進します。 (地域を支える商店街支援事業・連携10/10補助が令和5年度で終了したため、事業数が減少)	○	(申請済) ・お祭り広場(6団体連携) ・南区のイルミネーションを起点とした個店誘客事業(3団体連携) ・しろね祭り開催事業(5団体連携) ・南区マイタウン商品券発行事業(5団体連携)	令和7年度も新潟みなみ商工会などと連携しながら、商店街活性化の取組を支援していく。
2	交流人口拡大につなげるため、地域団体や、高校、大学など様々な分野で公益活動を展開する各種団体と連携した取組を推進します。	行財3-2-②	各種市民団体と連携した取組	7件	7件	・探検！発見！ぐるっと南区 ・風合戦開催補助金 ・風と大地の恵み開催補助金 ほか	・まち歩き団体と行うまち歩きイベント ・新潟医療福祉大学との白根大風合戦への学生の参加 ・南区創生会議との南区ツアーの実施 ・風合戦協会との風合戦開催 ・月潟大道芸フェスティバル実行委員会とのイベント開催 ・南区観光協会や観光農園協会との物産展開催や参加 ・風と大地の恵み実行委員会とのイベント開催	○	・まち歩き団体と行うまち歩きイベント(スマホまち歩き) ・新潟医療福祉大学との白根大風合戦への学生の参加 ・南区創生会議との南区ツアーの実施(7/23.31) ・風合戦協会との風合戦開催(6/6～10) ・月潟大道芸フェスティバル実行委員会とのイベント開催(9/22) ・南区観光協会や観光農園協会との物産展開催や参加(10/20) ・風と大地の恵み実行委員会とのイベント開催(10/6)	令和7年度もまち歩き団体をはじめ、各種団体と連携し、交流人口の拡大に努める。
3	南区の魅力を活かし交流人口の拡大のため、SNSをはじめとする様々なメディアを活用し、ターゲットを意識した効果的な情報発信を行います。	政策10-1-②	情報発信の取組	9件	11件	・HOTに発信！白根大風合戦プロモーション ・観光宣伝事業	・風合戦ライブ配信 ・JR東日本管内駅ポスター掲示 ・大宮駅前デジタルサイネージ ・THE NIIGATA ・デジタル観光マップ ・駅たびコンシェルジュで風PR ・南区フェア ・食花マルシェ ・渋谷区くみの広場	○	・風合戦ライブ配信(6/6.8.9) ・JR東日本管内駅ポスター掲示(5/16～22) ・大宮駅前デジタルサイネージ(5月中) ・THE NIIGATA(9/13) ・デジタル観光マップ(4/15運用開始・9月現在:73スポット) ・駅たびコンシェルジュで風PR ・南区フェア(7/27) ・食花マルシェ(10/12,13) ・渋谷区くみの広場(11/2,3) ・マルシン食品主催の福ふく歳末感謝祭に風PR(12/30) ・新潟春のお出かけPR@大宮駅に西蒲区、観光政策課・観光推進課とともに出展し令和7年の風合戦をPR(2/21,22)	令和7年度も引き続き各種イベントへ出展し、南区のPRに努める。

組織目標管理シート

年度	令和6年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・一人当たり市民所得(市民経済計算による一人当たり市民所得) ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・観光入込み客数 ・農業産出額推計値	作成日	R6.4.1
組織名(部)	南区役所	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課			評価日	R7.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要		
4	意欲ある担い手への農地の集積・集約化を効果的に推進し、生産性の向上を図るとともに、スケールメリットを活かした農業経営が展開できるよう取組を進めます。	政策9-1-①	認定農業者等への農地集積率	75.5%	79.5%	・機構集積協力金事業(国) ・新潟市未来へつなぐ地域農業支援事業 ・新潟市農業者減少対応経営確立支援事業	地域の中心となる経営体への農地集積や、分散した農地の連担化を円滑に進めるため、農地中間管理機構(農地バンク)を通じた農地集積に協力する地域及び農業者に對して支援を行います。	○ 令和6年3月末現在:74.8% 4,124.5ha／5,512.2ha 令和7年3月末現在:79.5% 4,384.0ha／5,512.8ha 味方地区における農地の集積・集約化の取組み等により、認定農業者等への農地集積が進んだ。	新たに策定した地域計画の目標達成に向けた取組のなかで、集落への説明を随時行い、制度の周知及び集積・集約化の取組みへの支援を行う。
5	新規就農者の技術および知識の習得や意欲ある担い手が営農を継続できる環境を整備するなど、多様な担い手の確保・育成を進めます。	政策9-1-③	就農相談会等への参加回数	4回	5回	・果樹 新規担い手等支援事業 ・にいがたアグリベース事業	・就農チャレンジフェア就農相談会参加 ・ABIOでの果樹就農に関する説明会の開催	○ (新潟県主催就農相談会) 6月8日農業大学校 7名 10月13日東映ホテル 1名 12月14日農業大学校 8名 2月22日新潟県庁 1名 (学生向け研修会) 10月2日ABIO果樹現地視察研修会35名	学生向けPRを強化したうえで、引き続き制度周知を含め支援を行う。

組織目標管理シート

年度	令和6年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・文化的な環境への満足度	作成日	R6.4.1
組織名(部)	南区	組織名 (準部・課・機関名)			建設課	評価日

No.	組織目標	指標				主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)	概要			
1	道路・橋りょうの整備・維持補修を早期に実施し、事業効果の早期発現を図ります。		上半期の工事発注率(%) (発注件数／当初予定件数)	80%以上	89%	工事、委託業務の早期発注	早期発注に向けて、毎月、発注状況の確認や予算執行などの進行管理を行います。	○	工事・委託年間発注件数(55件) 上半期発注件数(49件) 上半期発注率(89%)	今後も工事の早期発注に努め、事業効果の早期発現を図ります。
2	工事現場の安全管理の向上と事故防止に取り組みます。		・通常パトロールを年間8回実施 ・夜間パトロールを年間4回実施	12回	12回	安全パトロールを定期的に実施	・昼間 年8回(4、5、7、8、10、11、1、2月) ・夜間 年4回(6、9、12、3月)	○	安全パトロール ・昼間 8回 ・夜間 4回	現場確認や安全パトロールなどを実施することにより、工事現場の事故防止に取り組みます。
3	市民文化遺産である旧月潟駅かぼちゃ電車の新たな魅力を創出するとともに交流人口の拡大に取り組みます。	政策2-3-①	イベントの開催回数(回)	3回/年以上	4回	市民文化遺産である旧月潟駅かぼちゃ電車を活用したイベントの実施	市民文化遺産である旧月潟駅かぼちゃ電車を活用したイベントを開催し、新たな魅力を創出するとともに交流人口の拡大に取り組みます。	○	イベント開催回数 ・桜まつり (4月) ・月潟まつり (6月) ・ほんぼーと(中央図書館)企画展示展 (8月) ・走れかぼちゃ電車(9月)	今後もかぼちゃ電車を活用したイベントの実施による交流人口の拡大に取り組みます。
4	効率的な業務遂行につながるよう職員の職務能力を高めます。	行財1-4-①	研修実施回数(回)	4回/年以上	4回	課内で研修会の実施	職員の積極的な研修参加や課内勉強会を開催し、職員の能力向上を図ります。	○	課内研修 4回	課内研修を通じ、職員の事業遂行能力の向上を図ります。